



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エンプラス

コード番号 6961 URL <https://www.enplas.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員
財務経理本部 本部長

(氏名) 堀川 裕司 TEL 048-253-3131

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日 2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,012	△13.5	703	△48.5	530	△61.3	129	△90.9
2020年3月期第2四半期	16,203	△0.0	1,365	1.5	1,371	△19.3	1,432	39.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 212百万円 (△74.1%) 2020年3月期第2四半期 818百万円 (△53.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	10.61	—
2020年3月期第2四半期	114.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	54,181	49,404	89.9	4,036.54
2020年3月期	54,996	50,049	89.7	4,002.13

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 48,723百万円 2020年3月期 49,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（2020年10月29日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△11.0	1,300	△39.9	1,000	△53.5	400	△18.3	33.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

業績予想の修正については、本日（2020年10月29日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	18,232,897株	2020年3月期	18,232,897株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,162,403株	2020年3月期	5,903,371株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	12,226,898株	2020年3月期2Q	12,496,613株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 今後の見通し」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2020年10月29日(木)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 今後の見通し	3
(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対応が経済活動の維持と感染拡大抑制を両立する局面に移行したことから、景気は回復基調にあります。依然として新型コロナウイルス感染症の感染再拡大が懸念される状況にあります。米国においては製造業生産が持ち直しの兆しを見せるとともに、雇用や個人消費も回復基調にあります。中国においては生産活動の正常化がいち早く進み、輸出や輸入が持ち直し、景気回復の動きが見られる一方、米国による輸出管理規制の強化により先行き不透明感が増しています。新興国・地域では世界経済が大きく落ち込み、安全資産へ資金が流出したことにより通貨安の傾向にあります。わが国経済は外需が持ち直し、企業の景況感は改善する一方、企業収益は大きな落ち込みを見せるなど当社を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やグローバル競争の激化によるマーケット及びサプライチェーンの変化に迅速に対応してまいります。また、更なる成長を目指すため、新規事業の創出や既存事業の強化に注力することで企業価値の向上及び株主価値の最大化を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は14,012百万円（前年同期比13.5%減）となり、営業利益は703百万円（前年同期比48.5%減）、経常利益は530百万円（前年同期比61.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は129百万円（前年同期比90.9%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

「エンプラ事業」

自動車用部品は新型コロナウイルス感染症の影響による生産活動の落ち込みから回復傾向にある一方、プリンター用部品は世界的な需要減少により低調に推移しました。なお、当該エンプラ事業には、新規分野への先行投資や新事業開発が含まれています。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,515百万円（前年同期比17.8%減）、セグメント営業損失は731百万円（前年同期は349百万円のセグメント営業損失）となりました。

「半導体機器事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、新型コロナウイルス感染症の影響や世界的な半導体需要の一服、米中貿易摩擦の激化の影響を受け、モバイル向けや車載向けを中心に販売は低迷しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,419百万円（前年同期比11.4%減）、セグメント営業利益は805百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

「オプト事業」

光通信関連の光学デバイスは、5Gなどの次世代高速通信用途の引合いが引き続き増加傾向にあり、ハイエンドやミドルエンド製品の販売が好調に推移しました。LED用拡散レンズは、市場の競争の高まりを受けて受注が減少しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,077百万円（前年同期比7.5%減）、セグメント営業利益は629百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は54,181百万円となり、前連結会計年度末比815百万円の減少となりました。流動資産につきましては222百万円減少しました。主な変動要因は現金及び預金で2,916百万円、未収還付法人税等で925百万円、受取手形及び売掛金で483百万円、未収消費税等で322百万円減少し、有価証券で4,622百万円増加したことによるものです。固定資産につきましては592百万円減少しました。主な変動要因は投資その他の資産で400百万円、無形固定資産で136百万円、有形固定資産で55百万円減少したことによるものです。

負債は4,777百万円となり、前連結会計年度末比170百万円の減少となりました。流動負債につきましては314百万円減少しました。主な変動要因は買掛金で228百万円、賞与引当金で45百万円、未払費用で43百万円減少したことによるものです。固定負債につきましては143百万円増加しました。主な変動要因は転貸損失引当金で94百万円、繰延税金負債で86百万円増加したことによるものです。

純資産は49,404百万円となり、前連結会計年度末比645百万円の減少となりました。主な変動要因は自己株式で605百万円、為替換算調整勘定で324百万円減少し、その他有価証券評価差額金で363百万円増加したことによるものです。その結果、自己資本比率は89.9%となり、前連結会計年度末比で0.2ポイント増加しております。

(3) 今後の見通し

通期の連結業績予想につきましては、2020年5月7日公表の「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて合理的な業績予想の算出が困難であることから2021年3月期通期連結業績予想を未定といたしましたが、現時点で入手可能な情報に基づき算定し、公表することといたしました。売上高28,000百万円(前期比11.0%減)、営業利益1,300百万円(前期比39.9%減)、経常利益1,000百万円(前期比53.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益400百万円(前期比18.3%減)を予想しております。詳細は、本日(2020年10月29日)公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

(現時点の当社グループの対応について)

当社グループでは、従業員の安全を第一とし、感染リスク低減に向けて不要・不急な出張、面談等の延期または中止、在宅勤務の実施などの対応を行っております。また、日本やその他の国・地域におけるオフィス・生産拠点は各国政府及び地方自治体の指導・要請に基づいた対応を今後も行ってまいります。

(財務への影響について)

当社は、現時点では十分な現預金残高を有しており、今後の事業活動に影響を与えることはないと考えております。

(事業への影響について)

感染拡大に伴い、各国政府や地方自治体の要請等により事業活動及び行動の制限が強化された場合、工場の操業を一時的に停止することや、サプライチェーンの分断により資材の調達や製品の出荷に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,273	21,356
受取手形及び売掛金	7,053	6,569
有価証券	—	4,622
製品	933	899
仕掛品	723	533
原材料及び貯蔵品	1,535	1,623
未収消費税等	691	368
未収還付法人税等	1,113	188
その他	585	526
貸倒引当金	△11	△12
流動資産合計	36,898	36,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,896	2,823
機械装置及び運搬具（純額）	1,625	1,551
工具、器具及び備品（純額）	1,225	1,292
土地	6,788	6,782
使用権資産（純額）	704	658
建設仮勘定	497	574
有形固定資産合計	13,737	13,682
無形固定資産		
ソフトウェア	343	296
のれん	221	189
その他	286	228
無形固定資産合計	850	714
投資その他の資産	3,509	3,108
固定資産合計	18,098	17,505
資産合計	54,996	54,181

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,374	1,146
リース債務	206	195
未払金	701	723
未払費用	557	513
未払法人税等	388	369
賞与引当金	540	494
役員賞与引当金	30	13
転貸損失引当金	—	14
その他	284	299
流動負債合計	4,084	3,769
固定負債		
リース債務	490	479
退職給付に係る負債	68	73
繰延税金負債	168	254
転貸損失引当金	—	94
その他	135	104
固定負債合計	863	1,007
負債合計	4,947	4,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	7,563	7,563
利益剰余金	49,358	49,303
自己株式	△15,436	△16,041
株主資本合計	49,565	48,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	355
為替換算調整勘定	△210	△534
退職給付に係る調整累計額	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△221	△182
新株予約権	306	303
非支配株主持分	398	377
純資産合計	50,049	49,404
負債純資産合計	54,996	54,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	16,203	14,012
売上原価	9,259	8,516
売上総利益	6,943	5,495
販売費及び一般管理費	5,577	4,792
営業利益	1,365	703
営業外収益		
受取利息	105	31
受取配当金	9	9
スクラップ売却益	32	20
固定資産売却益	49	—
補助金収入	—	24
その他	41	36
営業外収益合計	239	122
営業外費用		
固定資産賃貸費用	9	6
持分法による投資損失	98	161
為替差損	99	98
その他	26	29
営業外費用合計	233	295
経常利益	1,371	530
特別利益		
固定資産売却益	34	2
投資有価証券売却益	—	151
新株予約権戻入益	—	2
訴訟損失引当金戻入額	380	—
特別利益合計	415	157
特別損失		
固定資産売却損	12	2
減損損失	1	25
事業再構築費用	—	67
転貸損失引当金繰入額	—	95
その他	0	0
特別損失合計	13	191
税金等調整前四半期純利益	1,772	495
法人税、住民税及び事業税	433	354
法人税等調整額	△129	△27
法人税等合計	304	327
四半期純利益	1,468	168
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,432	129

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,468	168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	363
為替換算調整勘定	△686	△330
持分法適用会社に対する持分相当額	3	11
その他の包括利益合計	△649	43
四半期包括利益	818	212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	788	168
非支配株主に係る四半期包括利益	30	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月29日及び2020年8月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式259,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が605百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が16,041百万円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。